

第2課題 CIデザイン

「企業ブランディング」プロモーション展開

<課題概要>

ブランド立ち上げの段階という想定で、期待感醸成期におけるプロモーション展開を中心に、CIデザインをする。

取り組んだのは「自身の考える架空企業のトータルデザイン」

1. 新ブランドのシンボルマーク、ロゴタイプ（和文、英文表記は必要に応じて）のデザイン
2. イメージカラーの設定 メインカラー（サブカラーを設定しても良い）

「居合術教室」の市場調査⇒ロゴデザインに展開

クライアント様ご意向 (仮想設定)

- ・習得してきた「居合術」を軸に教室を開きたい
- ・女性や海外の方にも広く門戸を開きたい
- ・もっと学びたい人にはより深く「居合術」を紹介
⇒殺陣(たて)教室・段位取得など

市場調査を経て

居合術教室名 + Main Concept

晴雲秋月

意味：心に汚れがなく、澄みとおっているたとえ。
＝明鏡止水・虚心坦懐

「晴雲」は、晴れた空に浮かぶ白雲のこと。
「秋月」は、秋の澄んだ空にかかる月の意。
澄み渡った境地を目指していく教室になるように命名。

TypeA 横



晴雲秋月

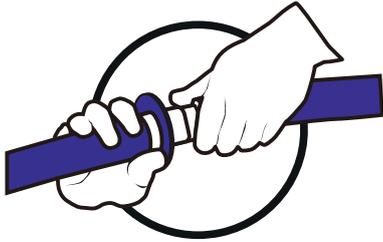
SEI UN SHU GETSU



コーポレートカラー
 青色：晴れた秋空や
 藍（あい）染めのイメージ。

青色は古来から学びや冷静さを表す色としてのイメージを持ちます。藍色は昔からさまざまな武術の道着の色としても定着しています。それらも含め、深めの「青色」で表現しています。

TypeA 縦



晴雲秋月

SEI UN SHU GETSU

TypeB-1



SEI UN SHU GETSU

TypeB-2



SEI UN SHU GETSU

Web ページ展開案



晴雲秋月
Sei Un Shu Getsu

About
居合術について

Profile
師範紹介

Experience
体験会・試し斬り

Training
稽古内容・料金

schedule
稽古日時

Voices
受講者の声



※人物写真はイメージです。

内なる静けさと
向き合う時間を。

居合術の技を
動画で見てもらう

※YouTube 動画
埋め込みイメージ





お問い合わせ



ファーストビュー切り替え画像案 ※写真はイメージです。



稽古風景



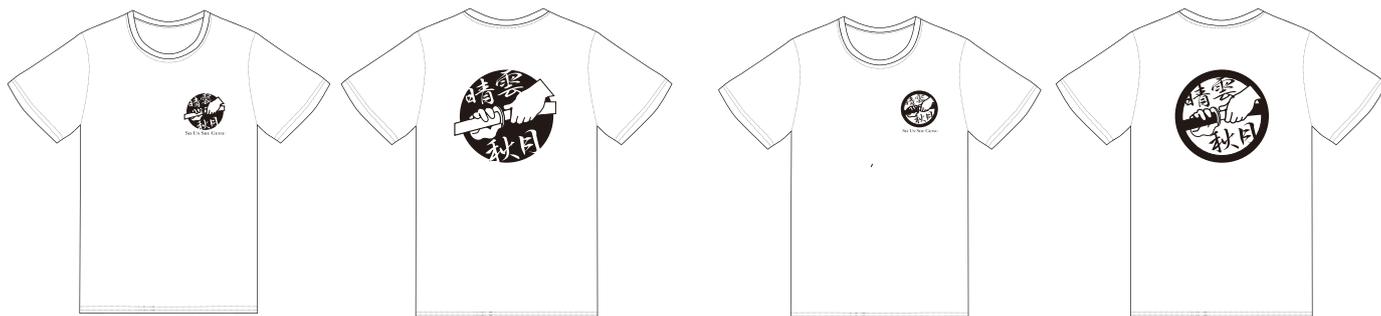
巻き藁を
斬っている所

第2課題 CI デザイン

教室グッズ展開案

道着下にも着用できる丸首Tシャツ

注：居合術では道着の下はシャツを着ない事になっているようだ。
着る場合は胸元から見えないようにするのが作法らしい。



市場調査プレゼン資料

「居合術」をやってみたい人が潜在的にどれだけいるのかについて、実際に他の居合術の会に入門した声を拾いながら、どのような背景をもった人が新たに入門する可能性があるのかを探りました。

「居合術」の潜在的ニーズ

クライアント様のご要望

- 習得してきた「居合術」を軸に教室を開きたい
- 女性や海外の方にも広く門戸を開きたい
- もっと学びたい人には
よりもっと深く「居合術」を紹介
⇒殺陣(たて)教室・段位取得など

「居合術」教室に通いたい人はいるのか。

⇒意外なところにいる。

意外な「居合術をはじめたきっかけ」

居合を始めようと思った一番の理由は好きになった漫画の影響でした。

(中略)

刀を扱うってカッコいいな～やってみたいな～！
という、おそらく他の方に比べると
とんでもない理由から
居合ができる場所を探し始めました。

(中略)

しかしながら、一番の動機が不純だったので
「鬼滅の刃が好きなので居合やりたいです」
という理由で習わせてくれるところなんて
あるだろうか？

という一抹の不安を抱えながら「埼玉 居合」とか
「大宮 居合」などで調べ、いくつか居合を教えてくれる
場所を見つけました。

引用元：「大日本居合道連盟大宮支部 剣聖館傳英信流 武徳会 居合ブログ
(新剣士の言葉ブログ)」<https://www.iaido-bushinkai.org/aidoblog/> (2023.05.19)

第2課題 CI デザイン

生涯学習としての「居合術」の可能性

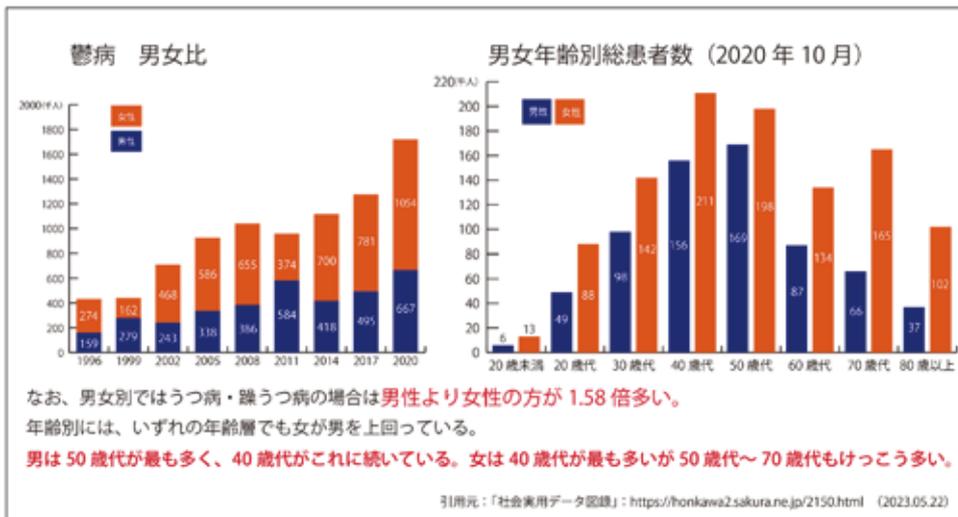
引き続き「生涯学習」として関心の高い「健康」「運動」



引用元：生涯学習における生涯学習に関する世論調査（令和4年7月調査） <https://survey.gov-online.go.jp/04/04-gakushu/index.html#T2> (2023.5.23)

令和4年度の世論調査を見ると、依然として「健康」「スポーツ」が「生涯学習」としての人気が高いことが伺えます。

情報過多、効率重視の風潮が加速しているもの



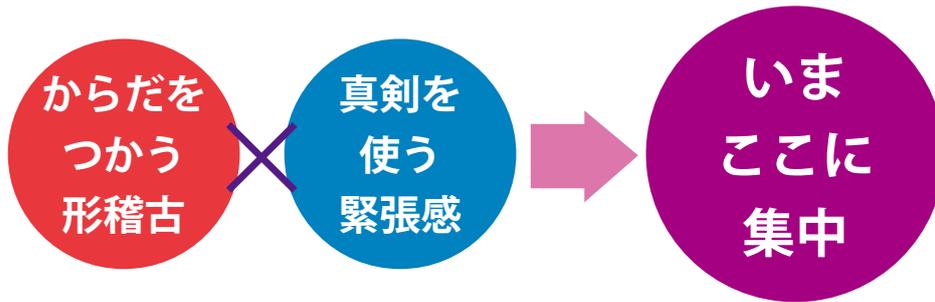
「居合術」×マインドフル＝「いまここに集中する」という新・切り口提案

一方で、年々鬱病患者やメンタルケアが必要な人は増え続けており、これらの予防策として、マインドフルな状態を生み出すような「生涯学習」も必要とされています。

「居合術」に取り組むことでマインドフルな状態に

マインドフルな状態とは、「今の瞬間」に注意を向けることができ、目覚めている状態であり、心と体が同時に同じ場所に存在している状態です。

程よい緊張と程よいリラックスの中間ぐらいの状態で、穏やかでクリアな安定感のある心の状態です。



引用元：「マインドフルネスプロジェクト」<https://mindfulness-project.jp/method/mindfulness> (2023.5.22)

「居合術」でからだを使って稽古することと、真剣を使うことで生じる緊張感が程よいところで保たれると「マインドフルな状態」が生まれるのではないかと考えました。

このように「居合術」を現代的に再解釈し、自分の心が澄んだ境地に向かっていく「居合術教室」になるように「晴雲秋月」というに名前にしました。

Design Concept

- ・旧来からの居合術教室に多い「家紋」「侍」的イメージからは少し距離を置くが、「居合術」とわかる瞬間のカッコ良さをロゴマークにする
- ・海外の人にも一目でわかってもらえるように英語表記を入れる

制作メモ

「居合術」のフリー素材写真がほぼないので、ヴィジュアルイメージを定めるのに苦労しました。最初の没にしたロゴマークを含めると、合計 3 つぐらいのアイデアを出してペンツールで書き起こしをしたのでクタクタになりましたが、アドバイスをいただいてより良いものにブラッシュアップできました。市場調査するうちに、驚くような入門者の「生の声」を見つけたので制作に迷いがなくなりました。調査資料から省いた内容もありますが、自分で推論を立て調べていく作業はとても楽しかったです。